

## 第2期「熊取町まち・ひと・しごと創生総合戦略」

令和2年3月 熊取町

# 目次

<b>第1章 基本的な考え方</b> . . . . .	<b>1</b>
第1節 はじめに . . . . .	1
第2節 趣旨 . . . . .	4
第3節 総合戦略の位置づけ . . . . .	4
第4節 計画期間 . . . . .	4
<b>第2章 基本目標・基本的方向性・具体的な施策等</b> . . . . .	<b>5</b>
<基本目標1> 魅力ある選ばれ続けるまちづくり . . . . .	5
<基本目標2> 子育て世代の希望を実現するまちづくり . . . . .	10
<基本目標3> 活力あふれるまちづくり . . . . .	14

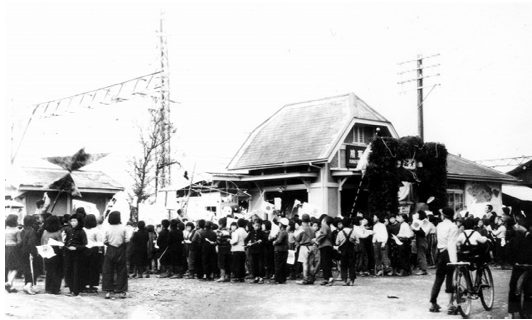
## 別添 主な具体的事業



# 第1章 基本的な考え方

## 第1節 はじめに

熊取町は、昭和26年の町制施行以来、昭和38年に京都大学原子炉実験所（平成30年4月から京都大学複合原子力科学研究所）が設置され、翌年昭和39年に熊取駅が快速停車駅となったことを契機として、人口が急増し、農村型集落から大都市近郊住宅都市へ、また、この間、関西医療大学、大阪観光大学、大阪体育大学が設置され、府内有数の「学園文化都市」へと大きな発展を遂げてきました。



過去の駅の様子

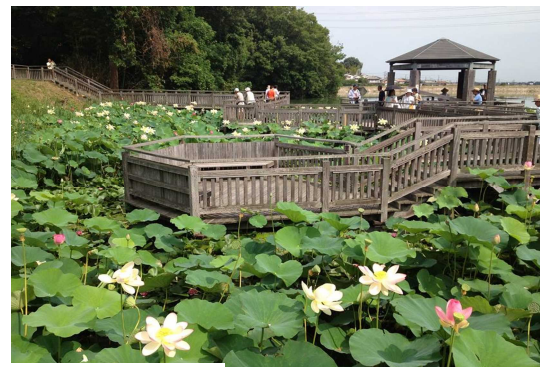


現在の駅の様子

一方、先人たちから引き継いできた貴重な財産である自然環境を守り続け、大阪みどりの百選・全国水源の森百選に選ばれた「奥山雨山自然公園」や、全国ため池百選に選ばれた「長池オアシス」をはじめ、大阪都心部から約30km、JR天王寺駅から快速で約30分という大都市近郊にありながら、豊かな自然環境に恵まれた、まさに、“トカイナカ”（都会で田舎）と呼ぶにふさわしいベッドタウンとして、まちの魅力を拡充させてきました。そして、このまちの魅力拡充は、行政だけでは決して成し得ないものであり、住民の皆様をはじめとする多様な関係者との協働のまちづくりにより実現されてきたことは言うまでもありません。



奥山雨山自然公園

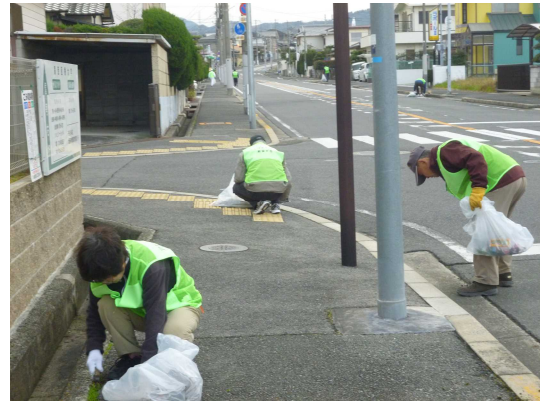


長池オアシス

特に、本町では、古くから地域コミュニティ活動が盛んであり、町内にある39全ての地区に自治会が設立されています。この強固な基盤を活かし、自主防災組織の結成率も100%となり、自主防災連絡協議会が立ち上がり、さらに、自治会管理の全防犯灯のLED化を達成するなど、住民間の自主的な話し合いにより地域の問題を解決するという理念のもと、協働のまちづくりが進展してきました。



自主防災組織による訓練の様子



自治会による道路清掃の様子

さらに、本町の特長の1つである大学との協働では、町内大学の学生などに登録いただき、一人一人の子どもに応じた細かな指導・支援を行う「学習支援ボランティア派遣事業」や、運動・スポーツを通じて、永く楽しく元気に暮らせるまちづくりを協働で推進する「DASHプロジェクト」など、各大学の特長を活かした様々な連携事業を実施しています。



学習支援ボランティア派遣事業



熊取町プロモーション事業



また、関西初の取組として始まった「ホームスタート事業」や、「ブックスタート」、「文庫活動」に代表される、地域のボランティアの方など、様々な関係者との協働による地域全体での子育て支援の取組は、多方面から高評価をいただき、子育てしやすいまちとしての“熊取ブランド”の確立に大きく貢献しています。



ブックスタート

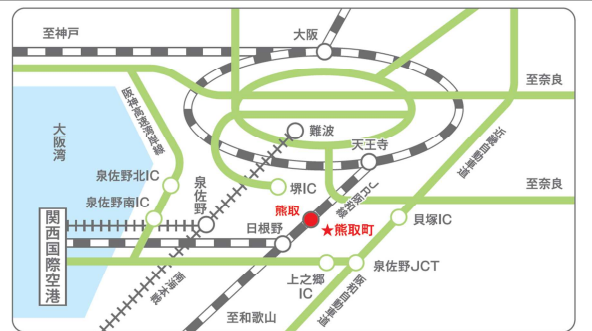


文庫活動

このように、「自然と共生」しながら、地域コミュニティや大学、地域のボランティア等との協働により、子ども、若者から高齢者まで、あらゆる人々が交流し、つながり、ともに歩むことで、人口減少・少子高齢化が進展する中、将来にわたり活力ある地域社会を維持するため、「熊取町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定め、地方創生の取組を進めます。

## “熊取駅”は、 大阪都心部まで約30分の近さ！

- ◎JR阪和線「熊取駅」から「天王寺駅」まで快速で 約30分  
関西国際空港までは電車・車で 約20分
- ◎熊取から南海本線「泉佐野駅」までバスで 約20分、  
「泉佐野駅」から「難波駅」まで急行で 約30分
- ◎阪神高速湾岸線「泉佐野北IC」から国道170号を東へ 約10分  
阪和自動車道「貝塚IC」から 国道170号を西へ 約10分



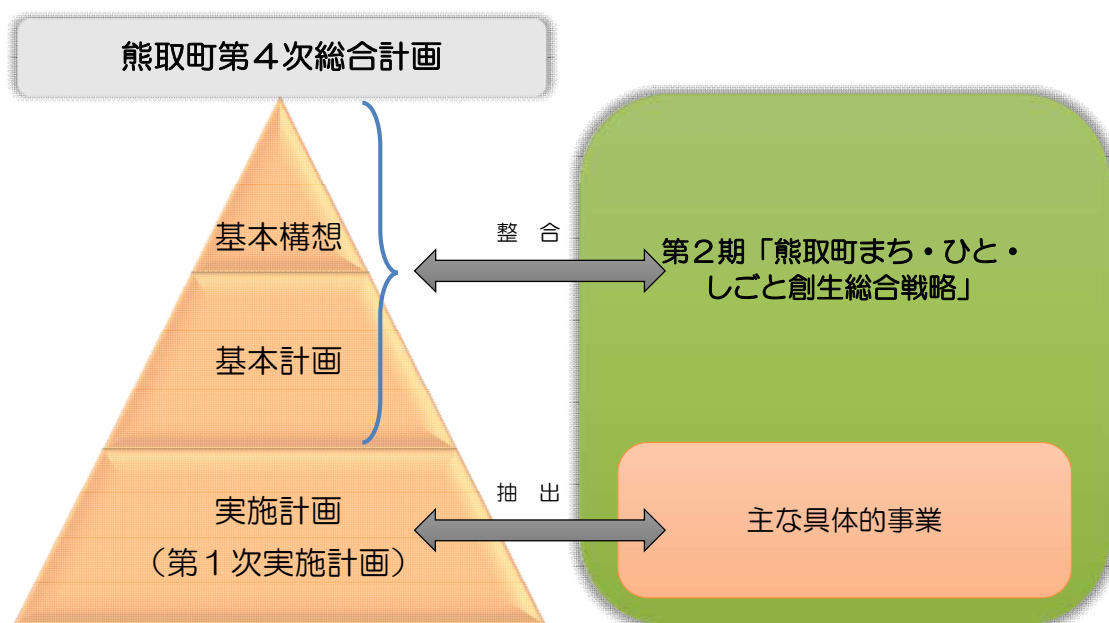
## 第2節 趣旨

熊取町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、熊取町人口ビジョンで示した将来展望を踏まえ、本町がまち・ひと・しごとの創生に取り組み、今後もまちの活力を維持し続けるため、平成27年度から令和元年度までを計画期間とする、5年間の基本目標や施策の基本的方向性、具体的な施策をまとめたものです。その計画期間が令和2年3月をもって満了することにもない、同戦略を改定し第2期「熊取町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定するものです。

## 第3節 総合戦略の位置づけ

総合戦略の策定に当たっては、まちづくりを総合的かつ計画的に進めるための最上位計画である熊取町第4次総合計画（2018年～2027年）と整合を図るため、第4次総合計画第1次実施計画に掲載された事業の中から、まち・ひと・しごと創生の趣旨に合致する事業を抽出するとともに、随時、新規事業を追加して総合戦略とするものです。

また、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における新たな視点をふまえ、新しい時代の流れを力にすべく、「Society5.0の実現に向けた技術の活用」や「SDGsを原動力とした地方創生」につながる事業、大阪府の掲げる「スマートシティ構想」の実現に向けた取組についても、必要に応じて新規事業として追加します。



## 第4節 計画期間

総合戦略の期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。なお、必要に応じ、総合戦略の内容を見直すこととします。

## 第2章 基本目標・基本的方向性・具体的な施策等

### <基本目標1> 魅力ある選ばれるまちづくり

数値目標：

社会増減数： 5年間で230人増加

基本的方向性

- 豊かなみどりと良好な住環境が調和するまちとしての魅力の維持・向上を図り、「住みたい 住んでよかった」ともにつくる“やすらぎ”と“ほほえみ”のまち」を実現する。

#### (1) 本町への転入・定住の促進

##### ①シティプロモーションの推進

効果的・効率的なプロモーションにより、子育て層に対して「子育てしやすい教育のまちくまとり」のブランドメッセージを引き続き発信するなど、若年世代の定住・転入や交流人口・関係人口の増加につなげる。

また、まちへの愛着を醸成する取組を進めるとともに、参画意欲の高い住民を増加させ、行政と住民が一体となったプロモーションの基盤を構築する。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
転入定住促進特設サイトへのアクセス数 （件）	3,374	4,400
25歳から39歳までの転入者数 （人）	476	500

【主な具体的事業】

- ・シティプロモーション事業
- ・広報事業
- ・ホームページ管理事業



## (2) 持続可能な地域社会の構築

### ①みどり豊かな自然環境の保全・活用

奥山雨山自然公園をはじめとする豊かな自然環境を維持・保全するとともに、永楽ゆめの森公園及び野外活動ふれあい広場を含め、NPO等との協働により、住民の憩いや自然との触れ合い、環境学習の機会づくりを推進していく。

重要業績評価指標 (KPI)	実績 (平成30年度)	目標 (令和6年度)
「永楽ゆめの森公園」及び「野外活動ふれあい広場」の利用者数 (千人)	172	190

#### 【主な具体的事業】

- ・ 緑化対策事業
- ・ 河川維持事業
- ・ 公園維持管理事業
- ・ 野外活動ふれあい広場管理事業

### ②社会基盤の整備

道路・公園・上下水道施設など、住民の生活基盤を支える施設について、国の財政支援を積極的に活用しながら、計画的に整備するとともに、主要都市計画道路整備に向けた関係機関との協議を推進していく。

重要業績評価指標 (KPI)	実績 (平成30年度)	目標 (令和6年度)
道路整備延長 (m)	300	320
交差点改良箇所数 (箇所)	2	1
下水道人口普及率 (%)	81.1	84.9

#### 【主な具体的事業】

- ・ 道路新設改良事業
- ・ 公園整備事業
- ・ 下水道建設事業

### ③社会基盤の長寿命化

老朽化する社会資本について、中長期的な視点に立った長寿命化計画により、国の財政支援を受け、計画的・効果的に長寿命化を図っていく。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
道路橋梁長寿命化計画に基づく修繕・更新橋梁数 （橋）	2	5
公園施設長寿命化計画の進捗率 （％）	46.8	88.9
下水道施設長寿命化計画の進捗率 （％）	66.5	100

#### 【主な具体的事業】

- ・道路維持事業
- ・公園整備事業
- ・公園維持管理事業
- ・下水道建設事業

### ④地域公共交通の推進

買物弱者に対する移動支援など、高まる様々なニーズに対応するため、幅広い層から意見をいただいた上で、持続可能で利用しやすい地域公共交通サービスを整備する。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
町域を通る路線バスを含めた、地域公共交通サービスの利用者数 （千人）	825※	844

※路線バスと町内循環バスの利用者数を計上

#### 【主な具体的事業】

- ・町内循環バス運行事業
- ・高齢者運転免許自主返納支援事業による「ひまわりバス無料定期乗車券」の交付

### ⑤健康・長寿の推進

健康づくりに取り組む自主活動グループにおける担い手の育成支援や自主的な地域の拠点づくりの支援を推進する。

また、乳幼児から高齢者まで一人ひとりの健康づくりと互いに支え合う地域づくりを進めるとともに、町内大学や関係機関との連携を強化し、専門性を活かした、身体はもちろん、こころの健康の増進も含めた”幸福度”が高まる健康まちづくりを推進する。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
主体的に健康づくりに取り組む自主活動グループ （グループ）	35	55
がん検診受診率 （%）	肺がん 14.5 大腸がん 13.5 乳がん 20.1	肺がん 21.0 大腸がん 22.0 乳がん 28.0
要介護認定率（65歳以上） （%）	17.6	21.0

#### 【主な具体的事業】

- ・健康増進事業
- ・一般介護予防事業

### （3）自然災害発生などに備える安全・安心なまちづくり

#### ①防犯対策の推進

「安全パトロール隊」による地域パトロールの実施や全小学校区へのスクールガードリーダーの配置により、犯罪の抑止力を高めるとともに、子ども見まもり活動や防犯カメラの設置など、地域コミュニティ、所轄警察署との協働により、防犯意識の醸成を図り、安心して暮らせるまちづくりを推進していく。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
町内における全刑法犯認知件数 （件）	266 （平成30年）	212 （令和6年）

#### 【主な具体的事業】

- ・防犯事業

## ②防災対策の推進

住民の防災意識を高めるとともに、災害の発生に備えて自主防災組織の活動を支援し、隣近所で互いに顔の見える関係を築く。

また、各指定避難所に備蓄している防災資機材の計画的な更新を進めるとともに、高齢者や障がい者、女性等に配慮した防災体制の整備に努める。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
自主防災組織の自主防災訓練実施率 （%）	71.8	100
自主防災組織の自主防災マニュアル作成率 （%）	0	100

### 【主な具体的事業】

- ・ 防災事業

## ＜基本目標２＞ 子育て世代の希望を実現するまちづくり

数値目標：

出生数：５年間で１，５５３人

10歳未満児童の転入者数：５年間で９５０人増加

基本的方向性

- 子どもを産み・育てる希望の実現のために、妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援等を推進するとともに、魅力的な子育て・教育環境を整備することによって、子育てしやすいまちとしての熊取ブランドを維持する。

### （１）子育て支援の充実

#### ①妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援等の推進

妊産婦健康診査、乳幼児健康診査、予防接種、育児相談など、妊娠・出産期から、子育て期に至るまで、民間のサポートを含め、切れ目のない支援体制を構築していく。また、子ども医療費助成制度の取組や、不妊・不育治療費助成など、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っていく。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
すくすく応援サポートプラン（妊産婦支援計画）の作成率  (%)	100	100

#### 【主な具体的事業】

- ・ 子育て支援事業
- ・ 児童相談事業
- ・ 母子保健事業
- ・ 子ども等予防接種事業
- ・ こども医療費助成事業
- ・ 読書活動推進事業

## ②保育サービスの提供

保育所（園）、認定こども園、学童保育所において、児童の年齢や保護者の就労形態に応じた保育の量の確保及び質の向上を図るとともに、多様な保育サービスを提供する。

また、保育所（園）、認定こども園、学童保育所施設については、入所児童数の推移や需要と供給のバランス等を総合的に判断し、適正な維持・管理に努める。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
保育所待機児童数 (人)	0	0
学童保育待機児童数 (人)	0	0

### 【主な具体的事業】

- ・ 保育所運営事業
- ・ 民間保育所等助成事業
- ・ 学童保育運営事業



## (2) 教育の充実

### ① 基礎的な知識・技能の確実な習得と学力の向上

基礎的・基本的な知識、技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成を図り、主体的に取り組む態度を養うとともに、地域資源を活用し、個に応じた学習支援を行うことにより学力の向上を図っていく。

また、子どもが心身ともに健やかに学び、育つ環境を充実させるため、学校における不登校、いじめ、児童虐待等、子どもを取り巻く様々な課題に対し、子ども、保護者の支援を充実させていく。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
外国人英語指導助手配置人数 (人)	6	6
スクール・ソーシャル・ワーカー配置人数 (人)	5	8

#### 【主な具体的事業】

- ・ 学習支援ボランティア派遣事業
- ・ 外国青年英語指導助手招致事業
- ・ 小学校英語活動推進事業
- ・ スクールソーシャルワーカー活用事業
- ・ スクールカウンセラー配置事業
- ・ 児童相談事業
- ・ 小学校運営事業
- ・ 中学校運営事業

## ②教育環境の整備

小、中学校の校舎、体育館等、施設・設備の計画的な改修等を進めるとともに、安全で衛生的な学校給食の提供に努めるとともに、時代に応じた学校ICT化に向けた取組を推進する。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
トイレ洋式化整備校数 (校)	1	8

### 【主な具体的事業】

- ・ 小学校維持管理事業
- ・ 中学校維持管理事業
- ・ 小学校給食事業
- ・ 中学校給食事業
- ・ 小学校運営事業
- ・ 中学校運営事業

## ＜基本目標3＞ 活力あふれるまちづくり

数値目標：

交流人口：6,700人（令和6年度）

↑

6,000人（令和元年度）

基本的方向性

- 地場産業の振興、創業支援など、多様な就業ニーズに対応した新たな雇用の受け皿づくり・産業振興を図るとともに、インバウンドの活用や、コミュニティを通じた活動等によるにぎわいと活力あるまちづくりを推進する。

### （1）交流人口の拡大

#### ①観光・交流の推進

本町の自然や文化等、地域資源の魅力を発掘・発信するとともに、重要文化財中家住宅等の既存の観光資源を活かしたイベント等の実施や、くまとりにぎわい観光協会等の関係団体との連携を通じて、認知度を高め、インバウンド振興等、国内外からの交流人口の増加に努める。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
観光案内所利用者数 (人)	42,335	47,000

【主な具体的事業】

- ・ 地域活性化事業

## (2) 地場産業の振興

### ①中小企業の経営基盤強化の支援

「産業活性化基金」を活用し、中小企業者の起業や経営安定、事業拡大を支援するため、開業資金等の融資制度に対する信用保証料助成を実施するなど、中小企業の経営基盤強化・起業家支援を図っていく。

重要業績評価指標 (KPI)	実績 (平成30年度)	目標 (令和6年度)
信用保証料助成率 (%)	26.1	50.0

#### 【主な具体的事業】

- ・産業活性化基金事業

### ②「熊取ブランド」の創出・地場産業の活性化

「産業活性化基金」を活用し、地場製品の製造（生産）、加工、販売、PR、企画立案等を行う事業を支援することにより、「熊取ブランド」を創出していくとともに、新たなチャレンジへの支援など、商工業、農業をはじめとする地場産業の活性化を図っていく。

重要業績評価指標 (KPI)	実績 (平成30年度)	目標 (令和6年度)
基金活用事業件数 (件)	22	※

※令和2年度中に設定。

#### 【主な具体的事業】

- ・産業活性化基金事業
- ・商工業振興事業

### (3) 協働のまちづくりの推進

#### ①住民協働・住民参画の推進

熊取町協働憲章に基づき、自治会をはじめ様々なまちづくりの主体が協働のまちづくりに一層参画しやすくなり、地域の課題解決にしっかりと結果が出せるよう、協働事業制度等の充実を図る。

また、様々なまちづくりの主体に対して、地域の課題解決や目標達成につながる活動を支援する。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
自治会加入率 (%)	76.5	81.5

#### 【主な具体的事業】

- ・ 町政連絡事務事業

#### ②大学連携の推進

行政と大学相互の人的・知的資源のさらなる交流・活用を図り、あらゆる分野で大学と連携したまちづくりをより一層展開するため、協働事業制度等の充実を図る。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
各大学等との連携事業数 (事業)	83	89
住民提案協働事業実施件数 (件)	7	7

#### 【主な具体的事業】

- ・ 町内大学連絡会運営事業
- ・ 住民提案協働事業
- ・ DASHプロジェクト推進事業

#### (4) 余暇活動の充実

##### ①生涯学習の推進

町内大学との連携、地域人材の活用等を行いながら、社会的要請や学習ニーズに応じた講座・学習の機会の提供を行う中で、趣味等をきっかけとした人と人とのつながりを生み出す。

重要業績評価指標 (KPI)	実績 (平成30年度)	目標 (令和6年度)
社会教育施設活動団体数 (団体)	222	250

##### 【主な具体的事業】

- ・生涯学習推進事業
- ・公民館運営事業
- ・教育・子どもセンター管理運営事業
- ・熊取交流センター運営事業
- ・社会体育推進事業
- ・図書館運営事業

##### ②生涯学習環境の整備

施設の適正な維持・管理に努めるとともに、生涯学習の成果の発表・活用機会の充実を図る。

重要業績評価指標 (KPI)	実績 (平成30年度)	目標 (令和6年度)
社会教育施設利用者数 (人)	524,132	550,000

##### 【主な具体的事業】

- ・公民館維持管理事業
- ・教育・子どもセンター管理運営事業
- ・熊取交流センター管理事業
- ・体育施設維持管理事業
- ・図書館運営事業
- ・図書館施設管理事業



## (5) しごとづくりの推進

### ①就労支援・就労機会拡大の推進

働く意欲がありながら就労を妨げる様々な要因を抱える就労困難者を対象に、就労に関する相談に応じるとともに、就業に繋がるような就業資格取得助成金事業を実施する。またハローワークや近隣市町、商工会と連携した合同就職面接会の開催など就労機会の拡大に努める。

重要業績評価指標（KPI）	実績 （平成30年度）	目標 （令和6年度）
就労相談者の就職者数 (人)	1	2
資格取得助成者数 (人)	1	3

#### 【主な具体的事業】

- ・ 地域就労支援事業

**別添 主な具体的事業**

## <基本目標1> 魅力ある選ばれ続けるまちづくり

### 基本的方向性

豊かなみどりと良好な住環境が調和するまちとしての魅力の維持・向上を図り、「住みたい 住んでよかった」ともにつくる“やすらぎ”と“ほほえみ”のまちを実現する。

#### (1) 本町への転入・定住の促進

##### ①シティプロモーションの推進

効果的・効率的なプロモーションにより、子育て層に対して「子育てしやすい教育のまちくまとり」のブランドメッセージを引き続き発信するなど、若年世代の定住・転入や交流人口・関係人口の増加につなげる。

また、まちへの愛着を醸成する取組を進めるとともに、参画意欲の高い住民を増加させ、行政と住民が一体となったプロモーションの基盤を構築する。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
シティプロモーション事業	継続	子育て層に対するブランドメッセージ（子育てしやすい教育のまちくまとり）の継続的な発信を基本として、就職期層（20～24歳）など新たな層に対する新たなブランドメッセージの発信等も検討・推進し、行政と住民が一体となったプロモーション基盤を構築する。
広報事業	継続	広報紙やマスコットキャラクターをはじめとする様々な媒体を戦略的に活用し、住民へ町政情報やイベント情報を提供するとともに、町への愛着の醸成に努める。また、広報紙については、常に住民にわかりやすい情報の提供に取り組む（リニューアルの検討）。このほか、パブリックコメント制度、パブリックモニター制度を実施し、住民の意見や提案をいただく機会づくりに努める。
ホームページ管理事業	継続	情報量を充実させ、利用者側のアクセシビリティに配慮したホームページづくりを行うとともに、ホームページやフェイスブック等で積極的に情報を提供し、住民のみなさんと行政情報の共有化を図る。

#### (2) 持続可能な地域社会の構築

##### ①みどり豊かな自然環境の保全・活用

奥山両山自然公園をはじめとする豊かな自然環境を維持・保全するとともに、永楽ゆめの森公園及び野外活動ふれあい広場を含め、NPO等との協働により、住民の憩いや自然との触れ合い、環境学習の機会づくりを推進していく。

## 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
緑化対策事業	継続	開発事業者への緑化指導（大阪府自然環境保全条例、本町開発指導要綱、みどりの基本計画等に基づく指導）を実施することにより、公園等の適正な管理、運営を図る。 また、自然緑地拠点活用推進事業を実施する「熊取町緑と自然の活動推進委員会」への助成を行う。
河川維持事業	継続	河川及び調整池内の草刈りや堆積土砂の浚渫等、適正な維持管理を図り、災害を未然に防止するよう努める。
公園維持管理事業	継続	地域に親しまれる公園を目指し、従来の手法による公園の維持管理に加え、住民との協働による公園の清掃や草刈等の維持管理を行う。 また、国土交通省、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基づき、定期点検を年1回実施し、安全点検を確実にを行う。
野外活動ふれあい広場管理事業	継続	指定管理者による野外活動ふれあい広場の管理運営を実施し、経費の削減と住民サービスの充実を図る。

### ②社会基盤の整備

道路・公園・上下水道施設など、住民の生活基盤を支える施設について、国の財政支援を積極的に活用しながら、計画的に整備するとともに、主要都市計画道路整備に向けた関係機関との協議を推進していく。

## 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
道路新設改良事業	継続	第2次道路整備計画に基づき、地域幹線道路網の整備として、現道狭あい区間の拡幅、改良及び歩道の設置を進めるとともに、危険度や混雑度の高い交差点改良により、渋滞の緩和や安全安心な歩行空間を確保し事故の削減を図る。
公園整備事業	継続	「熊取町公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設の改築・更新、バリアフリー化を行い、快適な公園・緑地づくりを推進する。

事業名	種類	概要
下水道建設事業	継続	計画的・効率的な下水道整備

### ③社会基盤の長寿命化

老朽化する社会資本について、中長期的な視点に立った長寿命化計画により、国の財政支援を受け、計画的・効果的に長寿命化を図っていく。

#### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
道路維持事業	継続	(維持管理の推進) 道路構造の保全及び円滑な道路交通を確保するため、町内全域における道路パトロール及び住民からの要望をもとに、道路施設の修繕、補修、草刈工事により、町道等及び熊取駅東西自由通路の適正な維持管理を行う。 (道路施設修繕計画事業) 「道路舗装修繕計画」、「橋梁長寿命化修繕計画」及び「道路附属物修繕計画」に基づき、計画的に道路施設の修繕工事等を実施する。 また、永楽ダム周辺道路における道路法面の安全対策を実施する。
公園整備事業	継続	(再掲)
公園維持管理事業	継続	(再掲)
下水道建設事業	継続	ストックマネジメント計画を策定し施設の適正な維持管理を行う。

### ④地域公共交通の推進

買物弱者に対する移動支援など、高まる様々なニーズに対応するため、幅広い層から意見をいただいた上で、持続可能で利用しやすい地域公共交通サービスを整備する。

## 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
町内循環バス運行事業	継続	町の公共施設の利用促進等を図るため、町内循環バス（ひまわりバス）を運行管理する。
高齢者運転免許自主返納支援事業による「ひまわりバス無料定期乗車券」の交付	継続	（交通安全対策事業）春・秋の全国交通安全運動における各種啓発活動や新学期における通学路街頭指導、児童を対象とした交通安全教室を通じて、交通安全意識と交通マナーの向上に努めるとともに、道路交通環境の安全性確保を図り、交通事故防止に努める。

### ⑤健康・長寿の推進

健康づくりに取り組む自主活動グループにおける担い手の育成支援や自主的な地域の拠点づくりの支援を推進する。

また、乳幼児から高齢者まで一人ひとりの健康づくりと互いに支え合う地域づくりを進めるとともに、町内大学や関係機関との連携を強化し、専門性を活かした、身体はもちろん、こころの健康の増進も含めた”幸福度”が高まる健康まちづくりを推進する。

## 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
健康増進事業	継続	計画に基づき、住民個々の自発的な健康づくりに対する啓発、住民主体の健康づくり活動グループの育成支援、大学等との連携・協働による健康教室の開催などを通じて総合的な健康づくりを展開し、ひとりひとりがいきいきと豊かに暮らせる健康まちづくりを推進する。
一般介護予防	継続	「高齢者保健福祉計画」及び「介護保険事業計画」に基づき、高齢者の介護予防と健康づくりを推進する。 高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、地域においてリハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進し、要介護状態等となることの予防を推進する。また、要介護状態等となるながらも生きがい・役割をもって生活できる地域を構築する。



### (3) 自然災害発生などに備える安全・安心なまちづくり

#### ①防犯対策の推進

「安全パトロール隊」による地域パトロールの実施や全小学校区へのスクールガードリーダーの配置により、犯罪の抑止力を高めるとともに、子ども見まもり活動や防犯カメラの設置など、地域コミュニティ、所轄警察署との協働により、防犯意識の醸成を図り、安心して暮らせるまちづくりを推進していく。

#### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
防犯事業	継続	警察・民間と連携した防犯対策及び防犯灯の維持管理を実施するとともに、自主的な防犯活動に対する支援を通じた犯罪の抑止、防犯意識の醸成を図り、すべての住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。

#### ②防災対策の推進

住民の防災意識を高めるとともに、災害の発生に備えて自主防災組織の活動を支援し、隣近所で互いに顔の見える関係を築く。

また、各指定避難所に備蓄している防災資機材の計画的な更新を進めるとともに、高齢者や障がい者、女性等に配慮した防災体制の整備に努める。

#### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
防災事業	継続	防災計画の見直し、防災会議の開催、防災訓練の実施、防災行政無線等機器の管理やデジタル化への更新、原子力防災活動資機材の維持管理、自主防災組織の育成や災害協力隊への活動助成等により、大規模災害に備える。

## <基本目標2> 子育て世代の希望を実現するまちづくり

### 基本的方向性

子どもを産み・育てる希望の実現のために、妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援等を推進するとともに、魅力的な子育て・教育環境を整備することによって、子育てしやすいまちとしての熊取ブランドを維持する。

#### (1) 子育て支援の充実

##### ①妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援等の推進

妊産婦健康診査、乳幼児健康診査、予防接種、育児相談など、妊娠・出産期から、子育て期に至るまで、民間のサポートを含め、切れ目のない支援体制を構築していく。また、子ども医療費助成制度の取組や、不妊・不育治療費助成など、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っていく。

#### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
子育て支援事業	継続	熊取町子ども・子育て支援計画に基づき、子どもの健全育成と家庭養育支援のため、各種子育て支援事業を実施するとともに、子育てしやすい環境の基盤整備を図る。
児童相談事業	継続	熊取町子ども・子育て支援計画に基づき、0歳から18歳までの支援を必要とする子どもと家庭を対象に、子どもの健全な育成と家庭状況の改善を図るため、相談事業を実施するとともに、相談体制の充実を図る。 子どもと家庭の様々な相談にきめ細かく対応し、発育・発達のおくれ、疾病及び虐待等の早期発見、支援を目的にし、専門的な相談を実施するとともに、療育が必要となる子どもや親への相談・助言をおこなう。
母子保健事業	継続	母子保健法に基づく母子保健事業として、訪問、相談、保健指導および各種乳幼児健康診査等を実施する。
子ども等予防接種事業	継続	感染症の予防およびまん延防止のため、予防接種法に基づき、各種予防接種を実施する。
こども医療費助成事業	継続	中学校3年生までの入院（食事療養費含む）及び通院医療費の一部負担額の保険適用分について、1医療機関あたり1日500円（500円未満はその額）を月2日までの負担となるよう、また、1ヶ月の支払額の合計額が、2,500円を超えないよう助成する。なお、1ヶ月の一部負担額が、2,500円を超えた場合は、申請により償還払いする。

事業名	種類	概要
読書活動推進事業	継続	「熊取町第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境を整備し、子どもの読書に関わる人材の育成及び向上を図る。 また、「熊取町第4次生涯学習推進計画」に基づき、読書推進を図る。

## ②保育サービスの提供

保育所（園）、認定こども園、学童保育所において、児童の年齢や保護者の就労形態に応じた保育の量の確保及び質の向上を図るとともに、多様な保育サービスを提供する。

また、保育所（園）、認定こども園、学童保育所施設については、入所児童数の推移や需要と供給のバランス等を総合的に判断し、適正な維持・管理に努める。

## 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
保育所運営事業	継続	（施設の維持管理等）保育所（園）、認定こども園、学童保育所施設については、入所児童の推移や需要と供給のバランス等を総合的に判断し、適正な維持・管理に努める。 （保育サービスの提供）保育所（園）、認定こども園、学童保育所において、児童の年齢や保護者の就労形態に応じた保育の量の確保及び質の向上を図るとともに、多様な保育サービスを提供する。
民間保育所等助成事業	継続	幼稚園、認定こども園の運営支援等により、就学前児童への質の高い幼児教育を提供する。
学童保育運営事業	継続	保護者の就労等により放課後の家庭保育を必要とする児童（小学校1年生から6年生）を対象に、指定管理者と協働し、保護者や子どもにとって、安全・安心な保育が継続して提供できるよう、適切な運営ならびに施設の整備・維持管理を行っていく。

## (2) 教育の充実

### ①基礎的な知識・技能の確実な習得と学力の向上

基礎的・基本的な知識、技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成を図り、主体的に取り組む態度を養うとともに、地域資源を活用し、個に応じた学習支援を行うことにより学力の向上を図っていく。

また、子どもが心身ともに健やかに学び、育つ環境を充実させるため、学校における不登校、いじめ、児童虐待等、子どもを取り巻く様々な課題に対し、子ども、保護者の支援を充実させていく。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
学習支援ボランティア派遣事業	継続	大阪体育大学などの大学生等を活用して学習支援ボランティアとして派遣することにより、一人ひとりに応じたきめ細かい教育活動を実施し、読み・書き・計算などの学力の基礎・基本の確実な定着を図る。
外国青年英語指導助手招致事業	継続	小中学校に外国青年英語指導助手を5名配置し、日本人英語教師とともに授業を行い、児童生徒の英語学習を指導する。リスニングテストの作成、暗唱大会の審査、町内教職員研修の講師、国際理解教育のための活動等にも従事する。小学校には週2日配置、中学校には週5日配置している。平成30年度8月からは小学校外国語活動教科化に向けて、外国人を1名増員する。
小学校英語活動推進事業	継続	英語に堪能な地域の方等を通訳兼外国語教育の指導助手として各小学校に配置するとともに、教員対象の研修会を実施する。
スクールソーシャルワーカー活用事業	継続	児童生徒の悩みや課題の解決、保護者支援の充実を目的として、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒のみならず家庭に対して教育的な視点に加えて福祉的な視点からの支援も実施する。
スクールカウンセラー配置事業	継続	大阪府の事業として、週に1回の割合で臨床心理士をスクールカウンセラーとして各中学校に配置する。生徒の心のケア、保護者等の悩みの相談や教職員のコンサルテーションにおいて、中心的な役割を果たしている。
児童相談事業	継続	不登校やいじめ、問題行動など、子どもの育ちに関する保護者の悩み等に対応できる相談窓口体制の充実を図る。
小学校運営事業	継続	小学校運営上必要な消耗品費、校用器具費等の整備を行うとともに、支援教育介助員及び学校図書館司書の配置等により、適切な学校運営を行う。プログラミング学習をはじめとした新学習指導要領の実施、学校情報セキュリティ対策、教員の事務負担軽減等にかかる学校ICT整備計画に基づく環境整備。

事業名	種類	概要
中学校運営事業	継続	中学校運営上必要な消耗品費、校用器具費等の整備を行うとともに、支援教育介助員及び学校図書館司書の配置等により、適切な学校運営を行う。プログラミング学習をはじめとした新学習指導要領の実施、学校情報セキュリティ対策、教員の事務負担軽減等にかかる学校 ICT 整備計画に基づく環境整備。

## ②教育環境の整備

小、中学校の校舎、体育館等、施設・設備の計画的な改修等を進めるとともに、安全で衛生的な学校給食の提供に努めるとともに、時代に応じた学校 ICT 化に向けた取組を推進する。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
小学校維持管理事業	継続	小学校の校舎、体育館等、施設・設備の計画的な改修等を進める。
中学校維持管理事業	継続	中学校の校舎、体育館等、施設・設備の計画的な改修等を進める。
小学校給食事業	継続	業務委託による学校給食（自校方式）を実施するとともに、給食備品の計画的な更新を行う。
中学校給食事業	継続	業務委託による学校給食（自校方式）を実施するとともに、給食備品の計画的な更新を行う。
小学校運営事業	継続	（再掲）
中学校運営事業	継続	（再掲）

## <基本目標3> 活力あふれるまちづくり

### 基本的方向性

地場産業の振興、創業支援など、多様な就業ニーズに対応した新たな雇用の受け皿づくり・産業振興を図るとともに、インバウンドの活用や、コミュニティを通じた活動等によるにぎわいと活力あるまちづくりを推進する。

#### (1) 交流人口の拡大

##### ①観光・交流の推進

本町の自然や文化等、地域資源の魅力を発掘・発信するとともに、重要文化財中家住宅等の既存の観光資源を活かしたイベント等の実施や、くまとりにぎわい観光協会等の関係団体との連携を通じて、認知度を高め、インバウンド振興等、国内外からの交流人口の増加に努める。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
地域活性化事業	継続	本町の自然文化等、地域資源の魅力を発掘・発信するとともに、既存の観光資源を活かしたイベント等を通じて、認知度を高め、交流人口の増加に努める。地域資源の理解に向けた観光教育の実施に努める。多様な関係者と協働し、にぎわいづくりを推進する。広域組織に参画し、連携したプロモーションを行う。

#### (2) 地場産業の振興

##### ①中小企業の経営基盤強化の支援

「産業活性化基金」を活用し、中小企業者の起業や経営安定、事業拡大を支援するため、開業資金等の融資制度に対する信用保証料助成を実施するなど、中小企業の経営基盤強化・起業家支援を図っていく。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
産業活性化基金事業・商工業振興事業	継続	町内商工業の振興を図り、活力にあふれたまちづくりを進めるため、産業振興ビジョンを更新し、既存産業の活性化に努め、商工業者団体への助成を行う。広く創業（起業）に対して支援を行う。また、特色ある地域ブランドの開発を支援する。



## ②「熊取ブランド」の創出・地場産業の活性化

「産業活性化基金」を活用し、地場製品の製造（生産）、加工、販売、PR、企画立案等を行う事業を支援することにより、「熊取ブランド」を創出していくとともに、新たなチャレンジへの支援など、商工業、農業をはじめとする地場産業の活性化を図っていく。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
産業活性化基金事業・商工業振興事業	継続	(再掲)

## (3) 協働のまちづくりの推進

### ①住民協働・住民参画の推進

熊取町協働憲章に基づき、自治会をはじめ様々なまちづくりの主体が協働のまちづくりに一層参画しやすくなり、地域の課題解決にしっかりと結果が出せるよう、協働事業制度等の充実を図る。

また、様々なまちづくりの主体に対して、地域の課題解決や目標達成につながる活動を支援する。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
町政連絡事務事業	継続	町内の区・自治会の区長に町政との連携窓口としての町政連絡事務嘱託員を委嘱し、町行政と住民とのパイプ役を担っていただくことで、円滑な町政運営に繋げる。

### ②大学連携の推進

行政と大学相互の人的・知的資源のさらなる交流・活用を図り、あらゆる分野で大学と連携したまちづくりをより一層展開するため、協働事業制度等の充実を図る。

## 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
町内大学連絡会運営事業	継続	町及び町内に存在する大学・研究機関相互の協調関係を築く。
住民提案協働事業	継続	住民提案協働事業として提案のあった事業を提案団体との協働により実施する。
DASHプロジェクト推進事業	継続	大阪体育大学との連携協定（H30.3）のもと、大阪体育大学生（クラブ所属）をスポーツ指導者として希望する中学校クラブに派遣する。

### （４）余暇活動の充実

#### ①生涯学習の推進

町内大学との連携、地域人材の活用等を行いながら、社会的要請や学習ニーズに応じた講座・学習の機会の提供を行う中で、趣味等をきっかけとした人と人とのつながりを生み出す。

## 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
生涯学習推進事業	継続	複雑化・多様化した社会的課題や地域課題の解決に住民が取り組むため、学習機会や情報の提供を行う。 住民が学習で得た成果を活かせる機会の充実を図る。
公民館運営事業・公民館維持管理事業	継続	住民が安心して学習活動を行う場を提供するとともに、施設の適正な維持・管理を行う。
教育・子どもセンター管理運営事業	継続	住民が安心して学習活動を行う場を提供するとともに、施設の適正な維持管理を行う。 平成30年10月1日より利用を開始するとともに、必要な整備を行う。

事業名	種類	概要
熊取交流センター運営事業	継続	住民の文化・芸術活動を支援するため、発表機会の提供や文化公演の開催、本町の歴史や文化を紹介する企画展の開催などを行う。
社会体育推進事業	継続	社会体育関係団体の助成・育成及びスポーツボランティアの活用など住民のニーズに即応した地域スポーツ行政の充実を図るとともに、太極拳フェスティバルの開催、観るスポーツとしての大規模大会の誘致等、スポーツ・レクリエーションの振興を目的として事業を展開する。
図書館運営事業	継続	新刊図書、雑誌、地域・行政資料などを的確に収集し、住民に提供するとともに、関係部局や関係機関との連携を強化し、住民の生涯学習を支える情報拠点としてのサービスに努める。 また、司書の専門性を高め、全ての住民の読書活動を支援する。

## ②生涯学習環境の整備

施設の適正な維持・管理に努めるとともに、生涯学習の成果の発表・活用機会の充実を図る。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
公民館運営事業・公民館維持管理事業	継続	(再掲)
教育・子どもセンター管理運営事業	継続	(再掲)
熊取交流センター運営事業	継続	(再掲)
体育施設維持管理事業	継続	多種多様化する住民のスポーツ活動に対応するため、町内各種施設を住民の利用に供する。

事業名	種類	概要
図書館運営事業	継続	(再掲)
図書館施設管理事業	継続	図書館施設（平成6年開館、地上2階地下1階、延床面積3906.85㎡）の適正な維持管理を行い、安全で快適な環境を利用者に提供する。

## (5) しごとづくりの推進

### ①就労支援・就労機会拡大の推進

働く意欲がありながら就労を妨げる様々な要因を抱える就労困難者を対象に、就労に関する相談に応じるとともに、就業に繋がるような就業資格取得助成金事業を実施する。またハローワークや近隣市町、商工会と連携した合同就職面接会の開催など就労機会の拡大に努める。

### 【主な具体的事業】

事業名	種類	概要
地域就労支援事業	継続	就労支援センターを周知し、充実した相談に努めます。就職困難者の資格取得を支援します。